

第150期 **中間報告書**

平成26年4月1日から
平成26年9月30日まで

オーミケンシ株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は平成26年9月30日をもって第150期上半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策等を背景にした円安・株高効果により、輸出企業を中心に景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方で消費税増税の影響や新興国経済の停滞に加え、期後半の急激な為替変動等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は繊維各部門においてレーヨンの国内販売強化に取り組むとともに海外展開を図ってまいりました。また、不動産事業にも注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は7,389百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は185百万円(前年同四半期比10.1%減)、経常利益は29百万円(前年同四半期比72.2%減)となり、四半期純利益は特別損失や法人税等調整額(益)等の計上があり114百万円(前年同四半期比44.2%減)となりました。

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりであります。

〔繊維〕

繊維部門につきましては、レーヨン綿事業は前年同四半期に比べて増収となりましたが利益面は苦戦しました。また、ブラジルの連結子会社は減収減益となりました。これらの結果、繊維部門全体では売上高は6,281百万円(前年同四半期比0.4%増)となりましたが、セグメント損失は97百万円(前年同四半期は36百万円のセグメント利益)となりました。

〔不動産〕

不動産部門につきましては、売上高814百万円(前年同四半期比24.6%増)、セグメント利益607百万円(前年同四半期比24.8%増)となりました。

〔その他〕

その他部門につきましては、売上高293百万円(前年同四半期比6.4%増)、セグメント損失25百万円(前年同四半期は36百万円のセグメント損失)となりました。

当社グループにおきましては、レーヨンの原料となるパルプの再生産性や生分解性などから環境に優しい繊維「エコロジー・クリーン・ファイバー」と打ち出すとともに、天然由来の機能素材を付加した機能レーヨンや木材パルプを利用せず、ケナフ、ジュート等の草本を原料とする新タイプのレーヨン「リ・テラ」などを環境に配慮したエコ素材として、販売強化を図ってまいります。

また、テキスタイルでの加工による差別化を図るため、より濃い黒色を表現する「エレガンスブラック」、綿100%の素材でも高いストレッチ性を持つ「エクセレントストレッチ」、ホルムアルデヒドが0.01以下の安心安全加工「ピュアオフ」、白さを追求した「エクストラホホワイト」等の加工技術を開発し、販売拡大に取り組んでまいります。

こうした品質と機能性で評価を受けている機能レーヨン、機能加工につきましては、差別化商品として市況に左右されにくいと、今後も積極的に開発を進めるとともに、国内だけでなく海外への販売を強化し、収益の改善を図ってまいります。その一つとして機能レーヨンの新しい世界市場を開拓していくことを目的として、インドのビルラグループの中核企業であるグラシム・インダストリーズ社とレーヨン事業に関する業務提携を行い、難燃レーヨンの技術提供を進める等、積極的に営業展開することで業績確保に努めてまいります。

さらに、産学連携や異業種との研究開発を進め、江崎グリコ(株)と共同開発した包接機能セルロース繊維「アミセル」、広島平和記念公園の折り鶴を繊維に再利用した「折り鶴レーヨン」、再生セルロースの低カロリー食品として展開を進める「可食セルロース」などのように、セルロース再生技術を応用した新素材で繊維以外の用途開発も進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

取締役社長 **乙村 誠**

四半期連結貸借対照表

(平成26年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	<u>30,886</u>	(負債の部)	<u>21,867</u>
I 流動資産	6,930	I 流動負債	8,174
現金及び預金	1,328	支払手形及び買掛金	2,009
受取手形及び売掛金	1,959	短期借入金	4,940
たな卸資産	3,166	1年内償還予定の社債	140
繰延税金資産	30	リース債務	43
その他	446	未払法人税等	55
貸倒引当金	△0	賞与引当金	68
II 固定資産	23,936	その他	918
有形固定資産	(23,569)	II 固定負債	13,693
建物及び構築物	1,281	社債	650
機械装置及び運搬具	1,190	長期借入金	4,423
土地	20,688	リース債務	204
その他	409	繰延税金負債	6,281
無形固定資産	(21)	役員退職慰労引当金	84
投資その他の資産	(345)	環境対策引当金	77
投資有価証券	61	退職給付に係る負債	880
その他	360	その他	1,090
貸倒引当金	△76	(純資産の部)	<u>9,019</u>
III 繰延資産	19	I 株主資本	10,527
社債発行費	19	資本金	5,305
資産合計	30,886	資本剰余金	2,424
		利益剰余金	2,801
		自己株式	△3
		II その他の包括利益累計額	△1,693
		その他有価証券評価差額金	5
		繰延ヘッジ損益	2
		為替換算調整勘定	△1,701
		III 少数株主持分	185
		負債純資産合計	30,886

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	内 訳	合 計
売 上 高		7,389
売 上 原 価		5,986
売 上 総 利 益		1,403
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,217
営 業 利 益		185
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	8	
雑 収 入	27	36
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	146	
雑 損 失	44	191
経 常 利 益		29
特 別 損 失		
固 定 資 産 廃 棄 売 却 損	3	
異 常 操 業 損 失	125	
そ の 他	10	138
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 失		108
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		7
法 人 税 等 調 整 額		△213
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益		97
少 数 株 主 損 失		16
四 半 期 純 利 益		114

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 概 況

(平成26年9月30日現在)

設 立 大正6年8月13日

資 本 金 53億5百万円

主要な事業内容

繊維製品（レーヨン綿、紡績糸、編織物等）の製造・加工・
販売、不動産の賃貸・販売及び住宅の建築・販売、その他

株 式 の 状 況

① 発行可能株式総数	普通株式	222,000,000株
	A種優先株式	11,000,000株
	B種優先株式	7,000,000株
② 発行済株式の総数	普通株式	66,024,594株
	A種優先株式	2,000,000株
	B種優先株式	7,000,000株
③ 単元株式数（普通株式・A種優先株式・B種優先株式）		1,000株
④ 株 主 数	普通株式	5,244名
	A種優先株式	1名
	B種優先株式	1名

⑤ 大 株 主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数				持 株 比 率
	普通株式	A種優先株式	B種優先株式	合 計	
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,947千株	一千株	7,000千株	9,947千株	13.26%
東 洋 商 事 株 式 会 社	5,673	2,000	—	7,673	10.23
龍 寶 裕 子	6,542	—	—	6,542	8.72
丸 山 三 千 夫	2,657	—	—	2,657	3.54
竹 甚 板 硝 子 株 式 会 社	2,100	—	—	2,100	2.80
太 陽 生 命 保 険 株 式 会 社	2,000	—	—	2,000	2.66
日 本 証 券 金 融 株 式 会 社	1,090	—	—	1,090	1.45
第 一 紡 績 株 式 会 社	1,015	—	—	1,015	1.35
村 山 信 也	791	—	—	791	1.05
鈴 木 紀 子	655	—	—	655	0.87

(注) 1. A種優先株式及びB種優先株式は、当社定款の定めにより議決権を有しておりません。

2. 持株比率は自己株式 (45,586株) を控除して計算しております。

主要な事業所

本 社 大阪府大阪市中央区瓦町 2 - 5 - 14 (本町オーミビル)
東京事務所 東京都中央区銀座 3 - 7 - 3 (銀座オーミビル)
加古川工場 兵庫県加古川市尾上町池田 8 5 0

主要な子会社

会 社 名	資 本 金	出資比率	主 要 な 事 業 内 容
オーミケンシソリューション株式会社	10百万円	100%	F Aシステムの構築・ソフトウェア開発・不動産賃貸業
近絹(上海)商貿有限公司(中国)	50百万円	100%	繊維原料・繊維製品の卸売販売
オーミ・ド・ブラジルテキスタイル株式会社(ブラジル)	26,347千レアル	70.8%	紡績糸の製造・販売

従業員数 340名

当社ホームページ <http://www.omikenshi.co.jp/>

役員

(平成26年9月30日現在)

代表取締役会長	龍	寶	惟	男
代表取締役社長	乙	村		誠
代表取締役専務	石	原	美	秀
取締役	奥	野	良	幸
取締役	前	田	利	文
取締役	中	田	邦	彦
取締役	下	野	宏	一
取締役	高	口		彰
取締役	安	田	正	太
常勤監査役	和	田		昇
常勤監査役	大	迫	修	一
監査役	崎	山	信	弘
監査役	豊	田	智	郎
監査役	浅	田	美	津子

- (注) 1. 取締役 安田正太氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 崎山信弘、豊田智郎、浅田美津子の3氏は、社外監査役であります。
3. 監査役 豊田智郎、浅田美津子の両氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

地球由来の、新素材。



re:terra 「リ・テラ」とは
草本由来のまったく新しい ECO 繊維

木材の伐採や土壌汚染を抑制し、有機廃材を有効活用する…。
その革新的な発想は CO₂ 排出を削減し地球環境に向き合った
新しい暮らし方を生み出していくはず。
繊維の新たな未来はここから始まります。



re:terra
kenaf



re:terra
bamboo



re:terra
cotton linter



re:terra
jute

リ・テラは、オーミケンシの草本原料を使用したレーヨンの総称ブランドネームです。



MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	4月1日から3ヶ月以内
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日 (2) 中間配当金 9月30日 (3) その他必要のある場合はあらかじめ公告して定める日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大阪市において発行する朝日新聞に掲載いたします。 公告掲載アドレス (http://www.omikenshi.co.jp/ekoukoku/index.html)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。